市民活動支援のための備品貸出要領

(目的)

第1条 この要領は、市民活動の活性化を図り、市民参画と協働のまちづくりを推進するため、公益活動を行う市民活動団体等に対して、市が所有する備品を貸し出すことに関し、必要な事項を定めるものとする。

(貸出備品)

第2条 貸し出しを行う備品は、別表のとおりとする。

(対象者)

第3条 備品の貸し出しを受けることができる者は、本市で公益活動を行う、市内在住・在勤又は在学者が主たる構成員となる団体等とする。

(対象となる行事)

第4条 備品の貸し出しは、前条に規定する団体等が、営利(原材料費等の実費相当額の徴収を除く。)を目的としない行事を開催する場合に行うものとする。

2 前項の規定にかかわらず、当該行事が次の各号のいずれかに該当するときは、貸し出しを行わない。

- (1) 法令又は公序良俗に反し、又はそのおそれがある場合
- (2) 特定の政治、思想又は宗教の活動に利用しようとする場合
- (3) 特定の個人又は団体の売名に利用しようとする場合
- (4) その他、市長が不相当と判断した場合

(使用料)

第5条 備品の使用料は、無料とする。なお、貸出期間中における運搬及び使用に要する費用は、使用者の負担とする。

(使用の申請及び許可)

第6条 備品を借り受けようとする団体等(以下「使用者」という。)は、原則として借受日の2ヶ月前から前日までの開館日に備品借用申請書(様式第1号)を市に提出しなければならない。ただし、市民活動推進センターららポート内で使用し、当日に貸出・返却する場合は、備品借用申請書の提出を省略することができる。

2 市長は前項の申請書の提出があったときは、その内容について審査し、適正と認めた場合は、備品を貸し出すものとする。なお、市長は貸し出しにあたっては条件を付することができる。

(貸し出しの変更等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、貸出条件を変更し、又は貸し出しを取り消すことができる。

- (1) 使用者がこの要領又は貸出条件に違反したとき。
- (2) その他やむを得ない事由が生じたとき。

(管理責任)

第8条 使用者は、備品を善良に管理するものとする。この場合において、使用者は備品を他の目的に使用し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、備品に棄損又は滅失を生じさせたときは、それによって生じた修繕及び賠償の責任を負うものとする。ただし、市長が認めた場合はこの限りでない。

(返却)

第9条 備品の貸出期間は、原則として3日以内(休館日除く)とし、備品の使用が終わったとき、又は使用許可が取り消されたときは、使用者はただちに現状に復して返却しなければならない。

(事故等の処理)

第10条 備品の使用によって生じた事故等に関しては、使用者の責任において処理するものとする。

(委任)

第12条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この要領は、令和6年9月1日から施行する。

別表（第2条関係）

	貸出備品	数量	型番
1	プロジェクター	2	EPSON EB-1785W EPSON EB-1771W
2	スクリーン	1	IZUMI-COSMO RS-80V
3	アンプ・マイクセット	1	Audio-technica ATW-SP1910
4	書画カメラ	1	EPSON ELPDC06
5	乳幼児用おもちゃ	各種	ボールプール、ブロック、 絵本、ゲーム等
6	ららポートスタンド	1	
7	テント	2	SOUTHERN PORT SP23-6084 250 cm×250 cm

※1 から 5 の備品については、原則、市民活動推進センターららポート内での使用とする。

様式第1号（第6条関係）

備品借用申請書

年 月 日

生駒市長様

団体名

住所

担当者名

電話番号

市民活動推進センターららポート備品借用願い

市民活動支援のための備品貸出要領第6条第1項の規定により、次のとおり申請します。

貸出期間	年 月 日 ~ 年 月 日
使用場所	
使用目的	
貸出品目	☐ プロジェクター ☐ スクリーン ☐ アンプ・マイクセット ☐ 書画カメラ ☐ おもちゃ ☐ ららポートスタンド ☐ テント ☐ その他（ ）
数量	
使用に関する誓約書	備品の使用に際して、次の事項を誓約します。 1 担当課の指示に従い機器を善良に管理します。 2 申請時の目的外の使用、転貸はしません。 3 使用が終わり次第、速やかに返却します。 4 自己の責任により備品を毀損又は故障させた場合は、担当課の指示のもと、責任をもって弁償又は修繕を行います。 5 上記のほか、要領等を遵守し、かつ、市の指示に従って使用します。